

千葉県教育委員会会議議事録

令和4年度第3回会議（定例会）

1 期 日 令和4年6月22日（水） 開会 午前10時30分
閉会 午前10時50分

2 教育長及び出席委員
教育長 富塚 昌子
委員 井出 元
岡本 毅
貞廣 斎子
花岡 伸和
永沢 佳純

3 出席職員

教 育 次 長 佐々木 悟
教 育 次 長 伊藤 賢

企画管理部

企 画 管 理 部 長 長谷川 聡
教 育 総 務 課 長 富田 浩明

教育振興部

教 育 振 興 部 長 浅尾 智康
学 校 危 機 管 理 監 中西 健
教 育 振 興 部 次 長 中臺 一仁
生 涯 学 習 課 長 鈴木 真一
教 職 員 課 長 原 義明

教育振興部

教職員課主幹兼小中学校人事室長 神澤 賢
同 管理主事兼小中学校任用班長 保田 征
同 主幹兼管理室長 工藤 秀昭
同 主席管理主事 山中 敬生
同 管理主事 佐々木 恵

事務局

企 画 管 理 部 教 育 総 務 課
主 幹 兼 委 員 会 室 長 佐藤 祐児
同 副主幹 阿部 竜作
同 主査 赤羽 大輔
同 主査 伊能 昌邦

4 教育長開会宣告

5 議事録署名人の指名 花岡 伸和 委員

6 令和4年度第2回千葉県教育委員会会議（定例会）議事録の承認

7 議題の宣告及び非公開の決定

本日の案件は、第7号議案の議案1件、第3号報告の報告議案1件、報告1の報告1件である。第3号報告及び第7号議案は、教育委員会会議規則、第13条第1項第一号「任免、賞罰、人事」に該当することから、非公開により審議する。

8 進行役の指名

千葉県教育委員会会議規則第27条の2の規定に基づき、ここからの進行を井出委員にお願いする。

9 審議事項

報告1 令和5年度公立学校教員採用候補者選考の志願状況について

【教職員課長】

志願状況であるが、表の合計欄に示したとおり、募集人員の合計約1,500人に対し、志願者数の合計は5,314人となり、志願倍率は約3.5倍となった。

選考区分別の志願者数の内訳であるが、小学校は1,535人で志願倍率は2.5倍、中学校と中・高共通枠は2,837人で志願倍率は4.1倍、特別支援教育は399人で志願倍率は3.1倍、養護教諭は一般選考が339人で志願倍率は6.2倍となった。

志願者数の変化を見ると、昨年度と比較して小学校で44人の減少、中学校と中高共通枠では81人の増加、特別支援教育では18人の減少などとなり、志願者総数で43人の増加となった。

志願者総数が増加した要因として、中高共通枠での志願者が増えたことによるが、これは名古屋（臨時）会場の受験教科を拡大したことが影響していると考えている。しかしながら、引き続き小学校志願者の減少傾向が続いており、優秀な人材を採用するために、志願者の確保は大きな課題と捉えている。

今後の採用選考の日程であるが、第1次選考は7月10日（日）、第2次選考は8月下旬に行い、最終合格発表は10月中旬を予定している。

【富塚教育長】

名古屋会場の拡大によって、昨年度を少しだけ上回る志願者が確保できた。小学校は依然として厳しい状況である。千葉大学や県内の教育課程を有する大学との連携を深め、採用選考方法の改善を図っていく。

【岡本委員】

貞廣委員へ伺うが、選考日が民間企業の就職とタイムラグがあり、優秀な人材が民間に流れていないか。

【貞廣委員】

民間の就職活動は早い。早々に内々定のようなものが出て、教員志望だった学生も、民間に流れていくことがある。企業のインターンシップは学生に達成感を持たせるようなプログラムである。文科省の中央教育審議会でも、教員養成採用選考の再検討は進められており、教員をやりたいという学生には、早くに採用選考的なものを行い、内々定を出していくという案も検討されている。可能かどうかも含め、検討状況を報告する。

【富塚教育長】

4月28日にオンラインで文部科学大臣から各都道府県に採用選考の複線化、早期化について

て検討していることが報告され、夏くらいに方針を示したいとのことである。県として独自にできることも併せて検討していく。

報告 1 は終了。

<傍聴・報道 退出>

第 3 号報告 学校職員の懲戒処分について

教職員課長が説明を行った。

第 7 号議案 学校職員の懲戒処分について

教職員課長の説明後、協議を行い、原案どおり可決した。

1 0 教育長閉会宣告

令和4年7月20日 署名人